

(※学年は受賞時のものです)

岩美南小学校 1年 熊澤 優さん 第23回読書感想画中央コンクール 小学校低学年の部 優良賞受賞

2月24日^金



2月24日(金)、第23回読書感想画中央コンクール(全国学校図書館協議会、毎日新聞社など主催)の表彰式が東京で行われ、岩美南小学校1年熊澤優さんが、小学校低学年の部で優良賞を受賞しました。

毎日、学校の図書室に通う本の大好きな優さんです。本を読み始めると、声をかけても気づかないくらい夢中になって読む姿が印象的です。これからも、たくさんの本と出会い、読書の感動や読書から考えることの楽しさを味わってほしいと願っています。



かべにゆうどうや友達と遊んでいるところを書きました。かべにゆうどうの上で、竹馬をしたり、おしゃべりをしたりしています。

かべにゆうどうの友達も来ていて、びっくりしておっこちそうになっている友達もいます。

作品名

「かべにゆうどうとあそぼう」

角野栄子・作 はたこうしろう・絵
「ひゅーどろどろかべにゆうどう」小峰書店



きれいで活気あふれるうるおいのある川にしたい 4年後の再会を願い サケの稚魚放流

3月18日^日

3月18日(日)、『小田川・荒金川に魚を蘇らせる会』が主催しているサケの稚魚放流が、岩常橋下流の河川敷で行われました。毎年この時期に、町内各小学校等によびかけ、サケの卵をふ化させ、放流しています。

この活動は今回で9回目を迎え、多くの方の協力を得てサケの稚魚約6,000匹を放流しました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、地元の方や小学校の児童ら約150人が参加し岩美南小オリジナルソング「きつともどるよ ふるさとに」を熱唱した後、4年後の再会を願いながら、サケの稚魚を放流しました。

「4年後のサケの帰還を心待ちにして、これからも小田川がよりきれいになってサケがどんどん上がってくるよう活動を続けていきたい。」そんな西浦会長を始めとする会の皆さんや地域のみなさんの熱い気持ちは、サケにも届き、また多くのサケが遡上してくることでしょう。4年後の再会が楽しみです。

